施政方針に対する 代表質問（要旨）

全文は、板橋区議会のホームページに掲載します

佐々木としたか（自民党）

財政について問う

【質　問】①法人住民税の一部国税化が決定し、26年度に影響は及ばないが、今後の都区財政調整協議でどのように議論が進行するのか。見解を。②歳入の確保について、25年度の反省点と26年度に向けた取組みは。

【区　長】①法人住民税の一部国税化の影響は、地方消費税交付金の増収と不可分の課題であり、かつ、都と特別区の双方が影響を受けることも踏まえて検討されると考える。②これまで取組みが遅れていた福祉資金返還金などの私債権については、研究部会を設置し課題や改善点の検討を行った。26年度は新規事業として、携帯電話から場所を選ばずに区民税、軽自動車税、各種保険料を支払えるモバイル・レジの導入を図っていく。

安心・安全東京一番に向けた取組みを

【質　問】①子どもの誕生は社会にとって最大の宝物である。したがって、健康や成長のために胎教、育児、教養などの専門家によるマタニティ大学の開講を。②24時間子育て相談窓口設置に加えて、妊婦にタブレット手帳を配付し、情報提供、成長記録の蓄積および指導・助言を。③区長は待機児童ゼロをめざし積極的な取組みを行ってきたが、26年度の待機児童数は500名前後と予想されている。待機児童の縮減に対する区長の見解は。④現実に待機児童が出現しているため、早急に対策、準備、行動を。⑤保育児童への食の安心・安全を確保し提供するために、適切な情報提供など一層の対策を。⑥教育施設の安全を確保するために、各学校に危険箇所のチェックリストはあるのか。また、危険箇所への対応策は。

【区　長】①母親学級、両親学級、乳幼児健診での集団指導など、多様な取組みを通じてマタニティ大学の趣旨を実現していきたい。②タブレットの配付については経費の面で難しい。しかし、スマートフォンを活用した電子母子手帳についてはアプリも存在しているため、紙ベースの母子手帳と比較しつつ今後研究していく。③共働きのニーズの増加や、女性の社会進出意欲の高まりによる保育園への入所希望増により、引続き待機児童の増加につながっている。④スマート保育の整備に加え、引続き認可保育園の増改築に伴う定員の増加などを推進する。⑤今後も衛生管理やアレルギー対応のマニュアルを配布し、説明会などで注意喚起を行っていく。

【教育長】⑥学校整備週間を設け、教育委員がチェックリストに基づき整備状況を確認、指導している。危険箇所については、緊急工事予算を確保し、安全対策に努めている。

区内業者育成と入札制度の改善について問う

【質　問】①国は、円滑な施工確保を図るため、直近の最新単価による予定価格の設定を要請しているが、区の対応は。②26年4月からの最低制限価格の引上げについて、変更の理由と効果は。

【区　長】①26年2月以降に発注する工事案件については、原則として最新の単価を適用し予定価格を設定している。②ダンピングを防ぎ適正価格による入札を確保するため。また、効果としては健全な事業者の育成促進が期待できる。

区民生活の安心・安全確保を

【質　問】①空き家対策の中でも特に木造空き家対策が求められているが、今までの取組みの総括と26年度の取組みは。②細街路整備と官民境界確定は、区民や事業者が費用を負担し建替えや工事にあわせて行われており消極的。積極的な取組みを。

【区　長】①25年度から26年度にかけて、区内全域で老朽建築物等実態調査を実施している。その結果を基に、緊急措置や解体助成対策も視野に入れた条例制定について検討していく。②細街路整備において、舗装工事などは区の費用で行っており、今後とも積極的に取り組む。官民境界確定については、未確定地が半数以上であり、区による実施には莫大な費用がかかる。そのため一部国庫補助がある地籍調査を実施している。

健康な都市づくりをめざして

【質　問】①今後認知症予防対策が重要になると考えており、予防講習会などに加えてさらなる取組みを。②近年、平均寿命に加えて健康寿命が重要なテーマであり、平均寿命は都や国に比べ長いが、健康寿命は都に比べ短い。乖離している現状についての見解と乖離縮減に向けた取組みは。

【区　長】①認知症の疑いが生じた場合は、健康長寿医療センターと開始した「認知症早期発見・早期診断推進事業」などを実施する。認知機能低下予防のため、効率的な事業運営を検討する。②様々な要素が絡んでおり原因は特定できないが、健康寿命延伸のために運動、食育および検診の受診率向上などに取り組む。

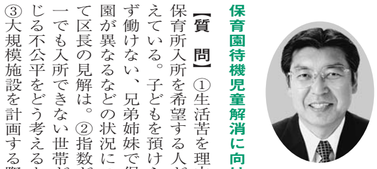
産業振興と理化学研究所板橋分所によるニューフロンティア構想について問う

【質　問】①ＯＤＦが区内企業に与えた影響は。②区議会は理化学研究所板橋分所の存置を求めて意見書を採択し、国へ要望した。板橋分所は区産業の発祥の地ともいわれてきた施設であり、貴重な歴史的建物でもある。意見書採択の意義についての見解と都や国への対応は。③板橋分所のある加賀地域は、研究機関や企業などの集積地であるため未来産業ニューフロンティアとして位置付け積極的な取組みを。

【区　長】①海外研究者から具体的な商談につながる話が出るなど、区内光学・精密機器産業界に大きなインパクトを与える機会となった。②意見書採択は厳粛に受け止め、大きな後押しとなっている。存置については、国への働きかけが必要であり、文部科学省と協議していく。③加賀地域は研究機関の集積や石神井川の景観など優れた地域資源の宝庫であるため、板橋分所の歴史的建造物を核とした周辺地域の発展に努める。

教育について問う

【質　問】①中央図書館建替えには、中央にふさわしい機能や役割が備わっているべき。現在地にこだわらない建替え計画を。②2020年に向けて若きアスリート支援のため、オリンピック道場の開設を。



区の若きアスリートたち

【区　長】②26年度にスポーツプロモーター制度を活用し、青少年へのスポーツ指導などの開催を検討している。道場については教育委員会と連携を図りながら検討していく。

【教育長】①26年度中に現在地を含めて改築場所を検討していくみを。

【区　長】①海外研究者から具体的な商談につながる話が出るなど、区内光学・精密機器産業界に大きなインパクトを与える機会となった。②意見書採択は厳粛に受け止め、大きな後押しとなっている。存置については、国への働きかけが必要であり、文部科学省と協議していく。③加賀地域は研究機関の集積や石神井川の景観など優れた地域資源の宝庫であるため、板橋分所の歴史的建造物を核とした周辺地域の発展に努める。

教育について問う

【質　問】①中央図書館建替えには、中央にふさわしい機能や役割が備わっているべき。現在地にこだわらない建替え計画を。②2020年に向けて若きアスリート支援のため、オリンピック道場の開設を。

【区　長】②26年度にスポーツプロモーター制度を活用し、青少年へのスポーツ指導などの開催を検討している。道場については教育委員会と連携を図りながら検討していく。

【教育長】①26年度中に現在地を含めて改築場所を検討していく。

松岡しげゆき（公明党）

児童館子育ちサポートについて問う

【質　問】15年度から実施されている児童館子育ちサポートは、区内在住、在学の小学1年から4年生までの児童が放課後一時的に留守になる場合や、学童クラブの待機児ない土曜日に利用されている。学童クラブの補完的な役割として児童館が行ってきたこの事業の今後の展開はどのようなものになるか。

検討される今後の「児童館のあり方」

【区　長】児童館子育ちサポートは、学童クラブの待機児やその他の事情で帰宅しても家に誰もいない児童に対し、学校から直接来館できるよう対応している。また新たな施設においても、新あいキッズとの役割分担を明確にしたうえで児童を受け入れることとし、具体的なカリキュラムなどを検討している。さらに、土曜日における児童への対応についても、児童への環境変化による影響を考慮し、新たな施設の施設開放での受入れについて具体的に検討を進める。

空き家対策について問う

【質　問】空き家、空き地、老朽家屋、ごみ屋敷対策については、大規模災害時における倒壊防止や二次災害防止の観点からも地域防災計画で明確に整備すべきである。空き家等適正管理条例は、インターネット情報によれば、都内においては足立区、大田区、墨田区、新宿区の特別区4区、八王子市、小平市、国分寺市の多摩地区3市、全国では168自治体が制定している。本区でも制定すべきと考えるが区長の見解は。

【区　長】25年度より区内全域において老朽建築物等実態調査を実施しており、25年度中に区内4分の1程度の範囲が終了する。調査結果を基に、実効性ある対策が講じられるよう、他の先進自治体の事例を参考にしながら条例制定も視野に入れて検討を進める。実態調査終了地域においては、早急に対応が必要とされる老朽建築物の所有者などに対し、改善指導も行っていく。

待機児童対策について問う

【質　問】25年度に417人の待機児童が発生したことを受け、26年度に向け477人の定員を増員する準備を進めてきたが、25年12月に締め切られた一次入所申請数は前年を464人上回る結果となった。就学前児童数は微増傾向にあり、保育需要率も伸びが続いている状況では、さらに千人を超える保育サービス定員が必要となる。0～2歳児に関しては、抜本的な保育計画の見直しが必要と考える。区長の見解は。

【区　長】26年4月入所申請の状況については、25年度に比べ需要の一段の高まりが見受けられ、特に0～2歳児の需要が高くなっている。保育需要の動向を的確に捉え、第3期保育計画の定員の増加目標の設定については、定員拡大の前倒しなど、さらに踏み込んだ計画となるよう検討を加速させていく。

就学援助について問う

【質　問】①いたばし未来創造プランにおいて就学援助の見直しを実施することとしているが、具体的内容は。②4月から実施される消費税増税分の影響はどのように配慮するのか。③本区の就学援助認定基準は生活保護基準の1・26倍に設定されている。25年8月から3年間で段階的に実施される生活保護基準の見直しによる影響にどのように対応するのか。

【教育長】①単価の高い宿泊を伴う費目について、宿泊行事にかかる経費の節減を図り、今回の消費税増税前の支給単価に据え置くこととした。②給食費については、消費税増税分の単価増を就学援助費に反映している。その他の支給費目についても基本的に増税に対応する方向で考える。③26年度は引下げ前の生活保護基準を基に就学援助認定を行う。27年度以降は生活保護基準の見直しについて情報収集を行い検討していく。

入札制度の課題について問う

【質　問】①公共工事の入札における入札不調および入札不成立が激増している。区民サービスを提供する上でどのような影響を受けているか。②国土交通省は、契約後の資材や労務費の高騰などの変動に備え、スライド条項を設定し、受注者からの申請に応じて適切な対応を図るよう市区町村に要請している。区の対応は。③区は、2月に受注制限の緩和や最低制限価格の引上げなどを含む6項目の入札制度の改正を発表し、ホームページに掲載した。今後は、最低制限価格の設定範囲をさらに引き上げることも視野に入れるべきと考えるが、区長の所見は。④入札不調を防止するため、現場の実態に即した積算による予定価格の設定こそ急務だと思うが、区長の判断は。

【区　長】①入札不調などの案件について、再入札の実施や随時契約の締結により区民サービスへの影響を最小限に抑えている。②工事請負契約書には全体スライド条項などが規定されており、受注者からの申請に応じて適切に対応していく。③品質確保の観点から、最低制限価格を引き上げた。今後も、最低制限価格を含め、入札の発注基準については、入札状況などを勘案し、必要があれば、改正を行う。④26年2月以降に発注する工事案件については最新の単価を適用した。その他の入札不調などに対応するため、予定価格別、発注基準の変更などの入札制度の改正を行っている。適正かつ公正な入札を担保するとともに、入札不調などに対応するため、今後も必要な改正を行っていく。

※以上のほか、財政施策、公共施設の跡地活用、介護施策、教育委員会の改革、予防接種財源の確保、産業支援施策について質問があった

高橋正憲（市民ネット）

保育園待機児童解消に向けて

【質　問】①生活苦を理由に保育所入所を希望する人が増えている。子どもを預けられず働けない、兄弟姉妹で保育園が異なるなどの状況について区長の見解は。②指数が同一でも入所できない世帯が生じる不公平をどう考えるか。③大規模施設を計画する際には企業側が率先して保育所を設置する取組みを。

【区　長】①状況を深刻に受け止め、保育施設の整備、さらなる定員増加の対策を講じる。②同指数の場合、各家庭の個別具体的な事情を勘案し、順位付けを行い、客観的に決定している。③大規模マンションの保育所整備に関し、要件の見直しも含め指導を強化。

新庁舎南館について問う

【質　問】板橋福祉事務所は、区民のセーフティネットを支える重要な部署である。被保護者は増加しており、高齢者が4割を占める。きめ細かな区民サービスのため、本庁舎にあるべきと考えるが見解は。

【区　長】本庁舎の低層階には来客数の多い窓口を配置するため、福祉事務所の配置は難しい。ＭＳビルへの暫定配置後は、旧保健所などの隣接区有地を含め、移転先を検討。

災害に強いまちづくりを

【質　問】①2月の大雪では、道路上の車の立ち往生、街路樹の枝折れが目についた。今回を教訓とした今後の雪害対策は。②防災行政無線を使用した注意喚起を。

高島平緑地の樹木雪害

【区　長】①積雪に対する適切な管理、対策を施設管理者に求める。また、26年度は高島平緑地の対策とサクラの街路樹の危険度調査を予定。さらに、雪害への対応力や復旧力を高める方策を検討。②防災行政無線は、災害時の避難勧告や特別警報の周知など用途が限定されているため、注意喚起は防災情報メールやホームページなどを通じて促す。

教育委員会改革について問う

【質　問】中央教育審議会は、地方教育行政の最終的決定権を教育委員会から首長に移す、首長の権限強化を提示したが、政治的中立性の点で危機感を覚える。区長の見解は。

【区　長】現行制度は、特定の政治的影響や個人的価値判断から中立性を担保している。新制度における中立性の担保については動向を見守る。

※以上のほか、新都知事の感想と期待、26年度予算、元気なまちづくりについて質問があった

松崎いたる（共産党）

教育の政治からの中立を

【質　問】現行の教育委員会制度発足の意義と、政治的中立確保の原則に関する認識は。

【区　長】教育委員会は、政治的中立性を担保することが求められており、特定の政治的影響や個人的価値判断に左右されないための制度であると考える。

いたばし未来創造プランを問う

【質　問】①ふれあい館の有料化やいこいの家の施設数の減少によって高齢者が通える場所が少なくなることは、高齢者の社会参加、生きがいの創造、健康維持、介護予防など、あらゆる面での後退につながるのではないか。②人口を増やすためにも認可保育所の増設が必要では。③集会所の施設数削減はやめるべきでは。④コミュニティバスの新規路線の具体的な設定案を示し、早期実現に向けた決意を。

【区　長】①高齢者の社会参加や介護予防などに対応できる施設の必要性が高まっているが、将来的にも財政負担となる施設については聖域なき見直しを図りながら資源の有効活用を進めていかなければならないと考える。単に廃止するだけでなく、ニーズの変化などに応じた新たな機能の付加や機能の変化を図りながら計画的な施設整備に努める。②認可保育所だけでなく、スマート保育を中心に認可保育所もあわせて、保育施設のベストミックスを考えて対応する。③将来需要を見通した適正化に向け、施設の見直しに取り組む。④庁内検討会で、具体的な対象地域や運行車両、運行ルート、収支などについて、実現の可否も含め検討中。

区役所南館をはじめとする庁舎の配置計画を問う

【質　問】①南館改築については当初の予定金額を上回り、また賃貸ビルの契約延長など予定外の出費も必要な事態となっている。南館は区民生活に影響しないとの区長の約束が果たされていないのでは。どのように責任を取るのか。②板橋福祉事務所はＭＳビルでは狭すぎる。板橋福祉事務所の配置を再検討すべきでは。③旧保健所の今後について、新庁舎を建設するのであれば、費用総額を区民に示し、判断を委ねるべきでは。

改築中の本庁舎南館

【区　長】①南館建設工事費と南館改築に伴う北館改修工事費は、区民生活に影響しないよう特定財源を充当している。南館改築事業を着実に進め、庁舎の防災拠点機能の強化、区民サービス向上、環境配慮を具体化して実現していく。②板橋福祉事務所の配置は、区民のセーフティネットワーク機能を的確に果たせるよう、十分に配慮していく。③旧保健所用地などを活用する際は、本庁舎北館や周辺公共施設の大規模改修などの更新時期も視野に入れた効率的、効果的な活用案となるよう、規模や経費を含めた整備手法を早急にまとめる。

大地震に備えるために

【質　問】住宅耐震化を抜本的に促進するため、条件によっては全額助成も可能になるよう、補助率の大幅アップを。

【区　長】補助率のアップや全額助成は現時点では考えていない。

ホタル生態環境館の疑惑を問う

【質　問】ホタル生態環境館の前担当職員は、同職員による著書やブログなどにおいて、同館では全国23か所のホタルを預かり、遺伝子が交雑しないように飼育しているなどと書いている。区はこの説明を事実と認めているのか。

【区　長】ホタル生態環境館は、他自治体や団体のホタルの幼虫を預かり、代わって飼育する施設ではない。

※以上のほか、国際平和に貢献する板橋区、区内経済活性化と消費増税について質問があった

佐藤としのぶ（民主党・無）

オリンピックに向けたまちづくりのために

【質　問】①オリンピックに必要な施設として、区の未利用地の活用を。②区内全域のスポーツ施設の整備・点検を行い、順次改善を。③埼京線と東武東上線に対し、オリンピックまでに鉄道のホームドアの設置を実施するよう促せ。

ホームゲートが設置されている都営三田線ホーム

【区　長】①区有地以外にも、区内の国有地や都有地の活用も視野に入れながら、実現の可能性を追求する。②計画的に施設点検を行い、整備を進める。③東武鉄道㈱とＪＲに対して設置を強く働きかける。

幼児教育と保育の両立を

【質　問】幼稚園の空き教室へのスマート保育または事業所内保育施設の設置を支援して待機児対策を。

【区　長】幼稚園における保育実施のモデルとなるように、区としても積極的に支援する。

教職員の体制充実を求めて

【質　問】大規模校対策として、①副校長2人制または副校長を補佐する事務職の配置を。②学級数に応じた非常勤学習指導講師の加配拡大を。

【教育長】①副校長の2名配置は難しいが、都は従来から配置していた退職職員である副校長の負担軽減を図っていくとしている。②各学校の状況に応じて、学習指導講師の増員に取り組む。

メディアリテラシー教育を

【質　問】①学校では携帯電話やインターネットの危険性をしっかりと指導しているのか。②保護者に対するメディアリテラシーの指導状況は。

【教育長】①道徳、学級活動、総合的な学習の時間などで重点的に指導している。②セーフティー教室に保護者が参加して、児童・生徒と一緒に学習する機会を設けている。また、保護者会などの機会を利用し、各家庭での意識啓発を進めている。

大雪に対する防災対策を

【質　問】①大雪や積雪による災害に対するマニュアルの整備状況は。②町会、企業、ボランティア団体などと除雪器具の提供などの協定を結び、雪かきの体制構築を。

【区　長】①積雪災害の体系的マニュアルは未整備のため、今後検討する。②保管場所などの条件整備が難しく、住民にはできる範囲での自助・共助を依頼していく。

※以上のほか、財政の課題について質問があった